

議会だより

定例会

令和元年第4回定例会は12月5日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

- 調査期日 10月11日
- 調査事項 保育所の建設状況と幼児保育無償化について
- 調査結果 指摘事項なし
- 調査期日 11月15日
- 調査事項 北竜振興公社の経営状況について
- 調査結果 指摘事項なし

諮問

- 人権擁護委員の候補者の推薦について

澤田 正人 氏(再)

同意

- 固定資産評価審査委員会委員の選任について

川島 史伸 氏(再)

令和2年1月29日任期満了のため任命に同意

原案可決

- 町長、副町長、教育長の給与に関する条例の一部改正について
- 職員の給与に関する条例の一部改正について
- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 北竜町第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について
- 北竜町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定について
- 会計年度任用職員の導入に伴う関係条例の制定について
- 北竜町保育士就業資金貸付条例の制定について
- 北竜町保健師就業資金貸付条例の制定について
- 北竜町手数料条例の一部改正について
- 令和元年度北竜町一般会計補正予算(第4号)について

規定予算に90,187千円を追加し、予算総額を4,222,549千円とする補正予算。

○令和元年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第2号)について

規定予算に2,600千円を追加し、予算総額を114,167千円とする補正予算。

○令和元年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

規定予算から84千円を減額し、予算総額を36,316千円とする補正予算。

○令和元年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第3号)について

規定予算から332千円を減額し、予算総額を319,871千円とする補正予算。

○令和元年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)について

規定予算から6,535千円を減額し、予算総額を432,727千円とする補正予算。

○令和元年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第3号)について

規定予算に1,575千円を追加し、予算総額を114,913千円とする補正予算。

○令和元年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第4号)について

収益的収入で3千円を追加し、総額を68,069千円とする。資本的支出で2,307千円を減額し、総額を109,031千円とする。

一般質問

5名の議員から6件の一般質問があり、内容については2月号に掲載予定です。



12月5日

中学生議会を開催

次代を担う子ども達が議会を体験することで、「まちづくり」への関心を持つってもらうことを目的に子ども議会を2年に一度実施しています。

今回は北竜中学校の3年生が対象となり、町理事者と8人の議員が答弁者席に、北竜中学校3年生の生徒9人は議員席に座り、本会議ながらの緊張感のある議会が開かれました。

■中学生議員の一般質問

1. 遊技場の新設について
2. ひまわりの里の整備について
3. 北竜の雇用について
4. 中学校の設備について
5. 街灯の設置について
6. 今後続くであろう高齢化社会について
7. 部活動場所の安全確保について



中学生議員による一般質問



議事進行を行う森島太雅議長



天皇の皇位継承が行われ、元号も平成から令和に変わり一つの時代に区切りがつけられた。迎えた令和は出だしから日本全国度重なる台風のために大きな災害が発生した。

「苦をせねば楽はならず」ということわざがある。喜びを得たいのであれば苦しむことも乗り越えなければならぬという戒めである。令和元年の苦を乗り越えて、災害に強く平和な日本であり続けることを心から願うところである。

(小松正美)

